

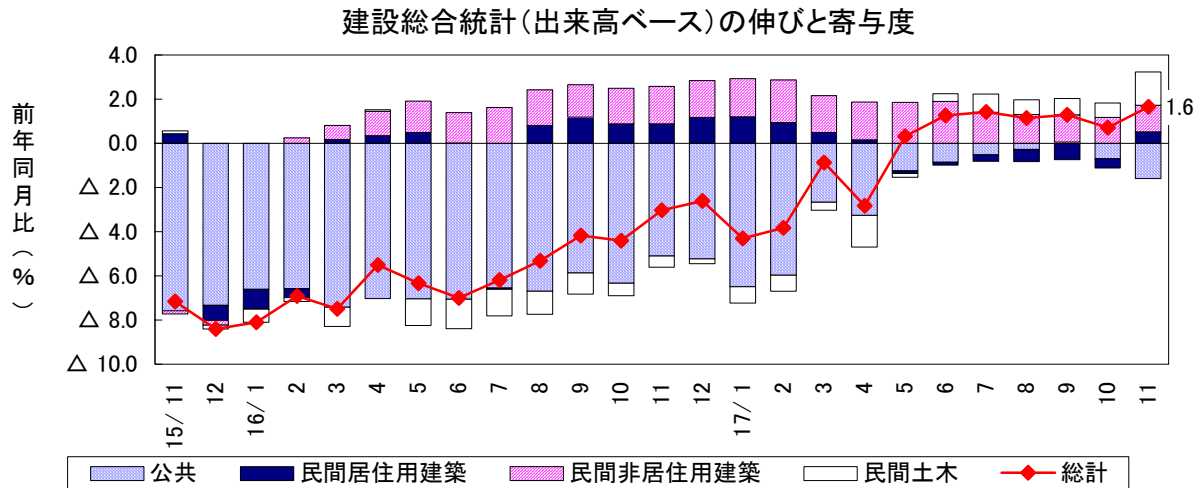
1. 建設投資の概況

(1) 建設総合統計（出来高）

11月の建設総合統計を出来高で見ると、全体で5兆686億円と対前年同月比1.6%増加した。

公共は、建築が2,629億円（前年同月比7.4%減）、土木が1兆7,444億円（同3.2%減）となり、全体では2兆73億円（同3.8%減）となった。

民間は、建築が2兆4,994億円（同3.6%増）、土木が5,619億円（同15.5%増）となり、全体では3兆613億円（同5.6%増）となった。



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	236,052
	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	203,170
月	17年 8月	44,083	29,298	24,509	16,728	7,782	14,785
	9	47,120	29,907	24,742	16,821	7,921	17,213
	10	49,606	30,382	25,104	16,983	8,121	19,225
	11	50,686	30,613	24,994	16,921	8,073	20,073

(対前年比、%)

区分	年度年月	総計	民間	建築	居住用	非居住用	土木	公共
度	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
月	16年11月	△ 3.0	3.8	5.8	2.8	13.2	△ 5.0	△ 11.2
	12	△ 2.6	5.0	6.7	3.9	13.4	△ 2.2	△ 11.1
	17年 1月	△ 4.3	4.2	6.9	4.1	13.5	△ 7.4	△ 13.6
	2	△ 3.8	3.9	6.6	3.1	14.2	△ 6.8	△ 13.0
	3	△ 0.9	3.3	5.0	1.7	12.4	△ 3.0	△ 5.9
	4	△ 2.8	0.7	3.8	0.5	11.2	△ 12.1	△ 8.4
	5	0.3	2.3	3.1	△ 0.3	10.7	△ 1.6	△ 4.0
	6	1.3	3.1	3.1	△ 0.3	11.1	3.0	△ 2.7
	7	1.4	2.9	2.0	△ 0.7	8.3	7.4	△ 1.6
	8	1.1	2.2	1.4	△ 1.4	7.9	6.4	△ 0.8
	9	1.3	2.0	0.9	△ 2.0	7.8	7.1	0.1
次	10	0.7	2.3	1.5	△ 1.2	7.7	6.4	△ 1.7
次	11	1.6	5.6	3.6	1.6	8.0	15.5	△ 3.8
累計	4月～11月	0.7	2.6	2.4	△ 0.5	9.0	4.1	△ 2.9

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

(2) 公共機関からの受注工事

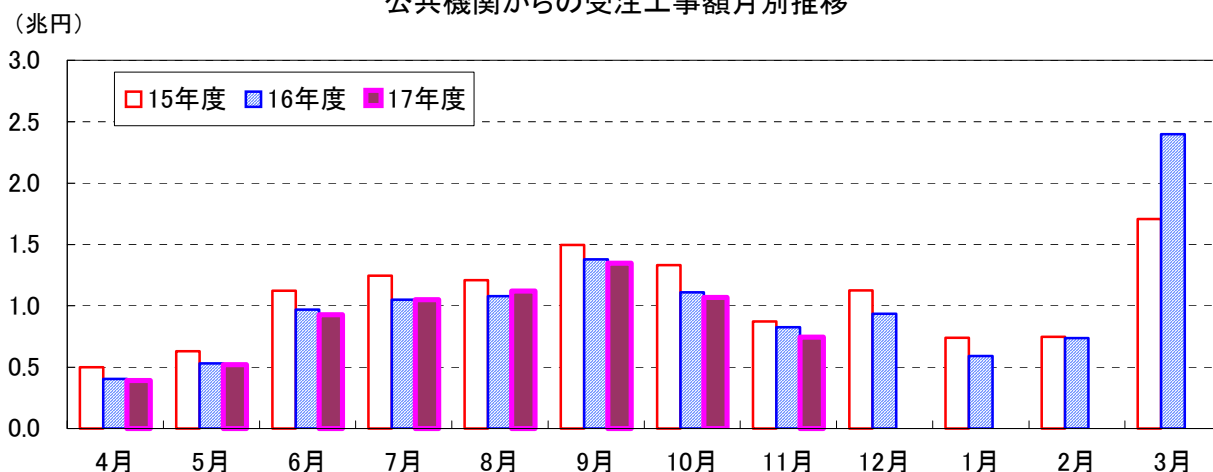
11月の公共機関からの受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関2,106億円（前年同月比15.8%減、2ヶ月連続）、地方の機関5,359億円（同7.0%減、先月の増加から再び減少）となり、全体で7,465億円（同9.7%減、3ヶ月連続）となった。

工事分類別で見ると、その他（同2.2%増、寄与度+0.7）、廃棄物処理（同156.5%増、寄与度+0.5）等が増加し、公園（同68.2%減、寄与度-3.7）、道路（同24.3%減、寄与度-2.3）等が減少した。

さらに発注機関・工事分類別で見ると、国以外の機関の公園（寄与度-3.6）、市区町村の道路（寄与度-2.4）等のマイナスの寄与度が大きい。

11月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比28.9%減少（5ヶ月ぶり）した。

公共機関からの受注工事額月別推移

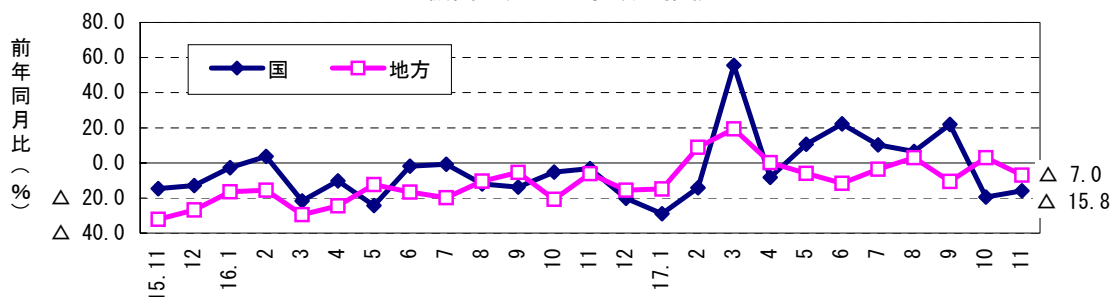


公共機関からの受注工事（対前年比、%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外 の機関	小計	都道 府県	市区 町村	地方 公営 企業	その他
年 度	14年度	△ 8.1	△ 11.2	△ 2.9	△ 21.9	△ 6.7	△ 6.2	△ 5.6	△ 10.6	△ 13.1
	15	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
月 次	16年11月	△ 5.3	△ 3.3	△ 31.2	34.3	△ 6.1	△ 9.4	4.2	△ 16.7	△ 40.0
	12	△ 17.0	△ 20.2	△ 8.2	△ 32.4	△ 15.6	△ 15.6	△ 15.2	△ 28.6	6.3
	17年1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 25.6	△ 33.2	△ 14.9	△ 15.0	△ 22.3	9.5	△ 1.8
	2	△ 1.5	△ 14.1	△ 10.4	△ 18.6	8.8	△ 4.0	15.3	70.1	△ 3.1
	3	40.5	55.6	84.3	△ 3.5	19.3	22.6	21.8	6.2	2.0
	4	△ 3.3	△ 8.2	7.9	△ 32.4	0.1	23.7	△ 6.2	△ 39.8	△ 25.5
	5	△ 1.6	10.6	16.8	3.5	△ 5.9	△ 7.2	0.5	△ 4.0	△ 65.4
	6	△ 4.1	22.3	6.4	35.0	△ 11.6	6.2	△ 18.2	△ 29.4	△ 22.9
	7	0.1	10.2	28.1	△ 1.9	△ 3.6	17.6	△ 18.9	86.4	△ 31.6
	8	3.9	6.5	23.2	△ 7.6	3.1	6.8	2.8	△ 6.2	△ 15.3
	9	△ 2.1	21.9	42.1	2.5	△ 10.6	△ 10.8	△ 8.7	13.1	△ 48.1
10	△ 3.8	△ 19.5	△ 7.6	△ 33.2	3.0	△ 10.9	8.2	70.6	58.7	
11	△ 9.7	△ 15.8	4.4	△ 29.6	△ 7.0	△ 9.7	△ 15.1	39.9	39.8	
累計	4月～11月	△ 2.4	3.2	15.8	△ 8.3	△ 4.5	△ 1.1	△ 8.2	15.9	△ 21.4

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(実数、億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負 額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社			
15年度	127,314	41,531	85,783	30,400	154,589	236,052	271,247
16	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	240,219
16年Ⅳ期	28,734	8,559	20,175	5,972	31,306	62,551	70,823
17年Ⅰ期	37,266	20,268	16,999	13,699	29,212	55,457	65,762
Ⅱ	18,423	5,678	12,744	3,722	35,392	37,675	47,476
Ⅲ	35,193	10,429	24,763	7,715	37,857	45,040	56,098
17年6月	9,289	2,607	6,682	1,768	13,030	11,873	
7	10,509	3,060	7,448	2,239	11,667	13,042	
8	11,201	2,990	8,211	2,054	12,042	14,785	
9	13,483	4,379	9,104	3,422	14,149	17,213	
10	10,686	2,688	7,998	2,057	12,379	19,225	
11	7,465	2,106	5,359	1,354	9,610	20,073	

(対前年比、%)

	公共機関からの受注工事				前払請負 額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社			
15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 19.0	△ 12.0	△ 13.7	△ 14.1	△ 9.3
16	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 11.4
16年Ⅳ期	△ 13.8	△ 10.1	△ 15.3	△ 8.3	△ 15.2	△ 12.2	△ 7.7
17年Ⅰ期	16.7	27.0	6.4	23.9	△ 5.5	△ 10.7	△ 15.9
Ⅱ	△ 3.3	9.3	△ 8.0	0.2	△ 6.4	△ 5.4	△ 2.3
Ⅲ	0.4	13.6	△ 4.3	14.7	△ 3.0	△ 0.7	1.9
16年11月	△ 5.3	△ 3.3	△ 6.1	9.6	△ 4.2	△ 11.2	
12	△ 17.0	△ 20.2	△ 15.6	△ 18.2	△ 14.6	△ 11.1	
17年1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 14.9	△ 26.5	△ 12.6	△ 13.6	
2	△ 1.5	△ 14.1	8.8	△ 14.0	△ 3.2	△ 13.0	
3	40.5	55.6	19.3	53.1	△ 3.1	△ 5.9	
4	△ 3.3	△ 8.2	0.1	10.2	△ 11.3	△ 8.4	
5	△ 1.6	10.6	△ 5.9	5.8	△ 0.4	△ 4.0	
6	△ 4.1	22.3	△ 11.6	△ 6.8	△ 4.7	△ 2.7	
7	0.1	10.2	△ 3.6	11.5	△ 12.7	△ 1.6	
8	3.9	6.5	3.1	0.7	△ 0.2	△ 0.8	
9	△ 2.1	21.9	△ 10.6	27.7	4.1	0.1	
10	△ 3.8	△ 19.5	3.0	1.0	△ 1.4	△ 1.7	
11	△ 9.7	△ 15.8	△ 7.0	△ 28.9	△ 0.9	△ 3.8	
17年度累計	△ 2.4	3.2	△ 4.5	3.2	△ 3.9	△ 2.9	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

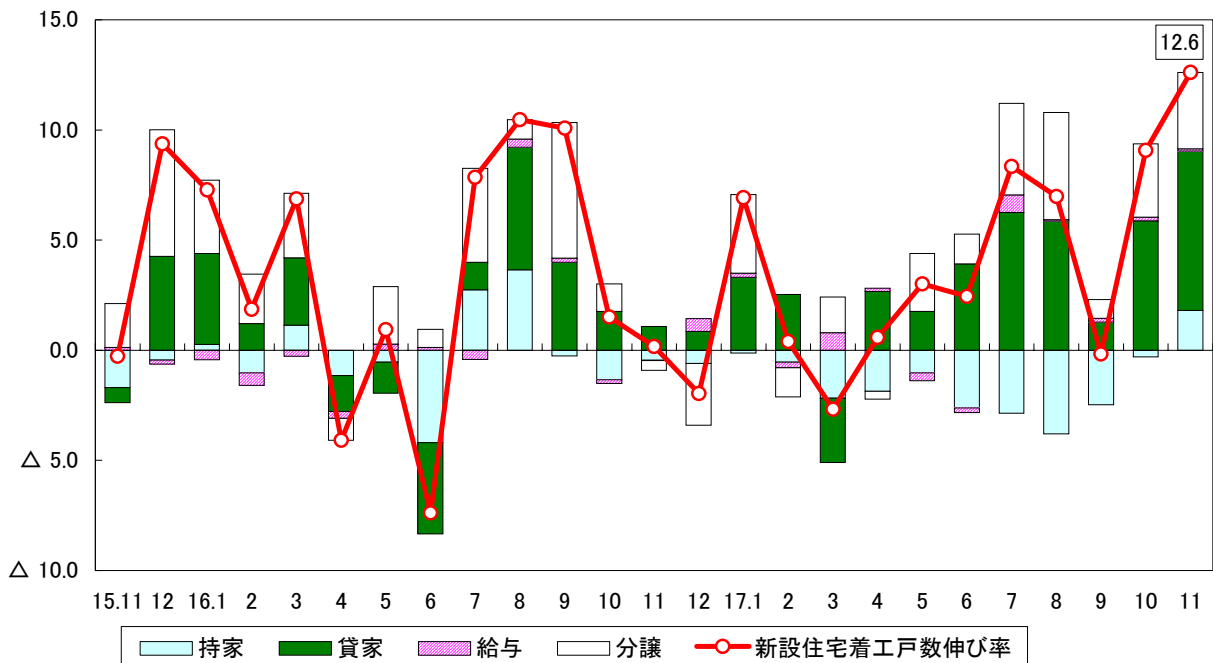
11月の着工は110,986戸。対前年同月比で見ると、持家、貸家、分譲住宅ともに増加したため、全体で12.6%増加（2ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成16年10-12月期1,183千戸（前期比3.7%減）、平成17年1-3月期1,221千戸（同3.3%増）、4-6月期1,169千戸（同4.2%減）、7-9月期1,289千戸（同10.3%増）、10月1,292千戸（同3.8%増）、11月1,301千戸（同0.7%増）となった。

新設住宅着工戸数（戸、対前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家		貸家	分譲住宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
				公庫 融資			マ ン シ ョ ン		
年度	年月								
年	14年度	1,145,553	△ 2.4	△ 3.1	△ 56.7	2.8	△ 8.1	△ 11.0	総戸数 (千戸)
	15	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
月	16年11月	98,561	0.2	△ 1.6	△ 69.4	2.6	△ 1.5	△ 8.4	1,152
	12	98,849	△ 2.0	△ 2.2	△ 63.5	2.1	△ 8.9	△ 17.7	1,185
	17年1月	94,944	6.9	△ 0.5	△ 62.4	8.4	10.7	13.7	1,302
	2	85,288	0.4	△ 1.8	△ 58.4	6.7	△ 4.2	△ 8.6	1,173
	3	90,789	△ 2.7	△ 6.8	△ 57.1	△ 7.6	5.6	14.5	1,166
	4	96,740	0.6	△ 5.5	△ 50.4	7.2	△ 1.3	△ 3.5	1,138
	5	101,862	3.0	△ 3.1	△ 39.8	4.6	9.5	17.1	1,205
	6	109,184	2.4	△ 7.7	△ 42.5	10.3	5.0	10.9	1,222
	7	115,343	8.3	△ 8.5	△ 43.2	17.3	14.0	25.9	1,335
	8	109,199	7.0	△ 10.9	△ 38.7	15.3	18.7	38.9	1,271
	9	108,086	△ 0.2	△ 8.1	△ 31.7	3.3	2.9	6.4	1,245
	10	115,769	9.1	△ 1.1	△ 22.9	14.3	11.1	18.6	1,292
11	110,986	12.6	6.4	△ 6.7	17.0	12.2	19.7	1,301	
累計	4月～11月	867,169	5.3	△ 5.2	△ 37.1	11.2	9.0	16.3	—

新設住宅着工戸数の伸びと利用関係別寄与度



資料: 国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

11月の着工は 29,679 戸。東北では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 6.4%増加（15ヶ月ぶり）した。

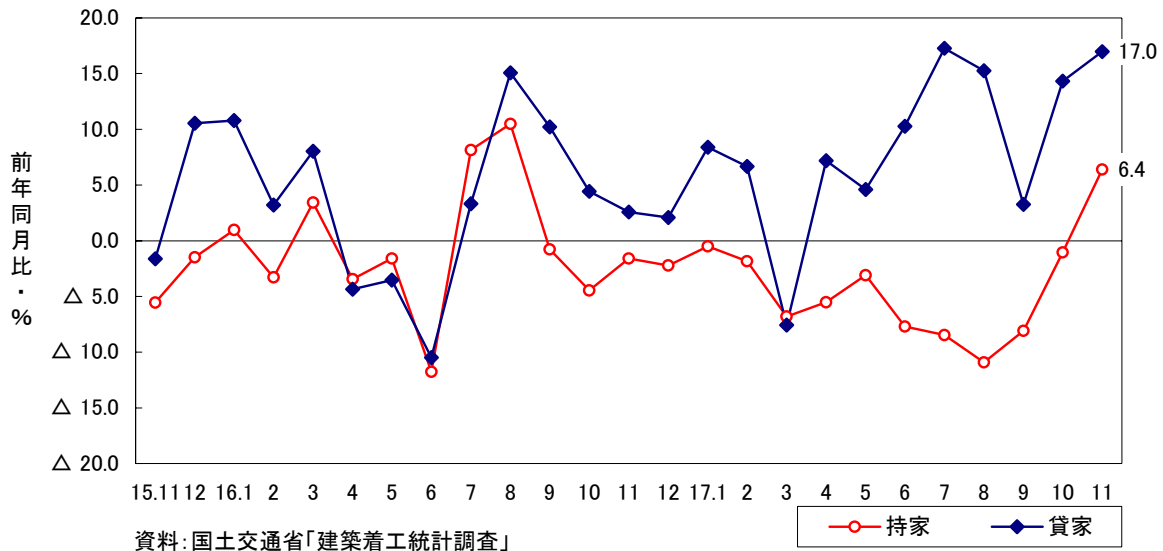
<貸家>

11月の着工は 49,119 戸。東北では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 17.0%増加（8ヶ月連続）した。

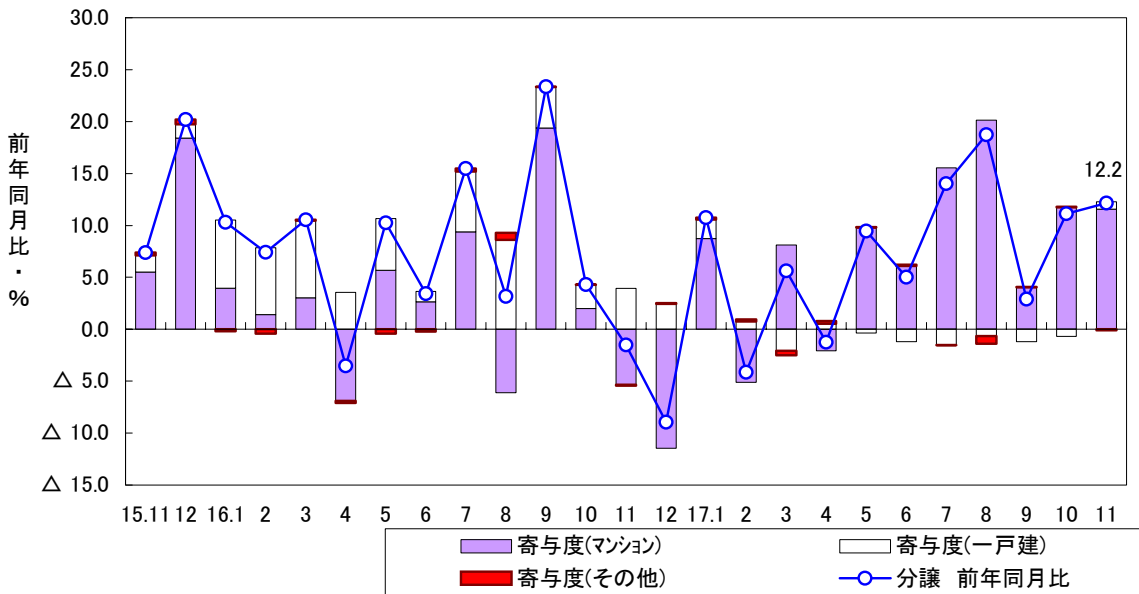
<分譲>

11月の着工は 31,519 戸。北陸、四国、沖縄では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 12.2%増加（7ヶ月連続）した。マンションは 19,795 戸で、首都圏（8,777 戸、前年同月比 2.5%減、先月の増加から再び減少）は減少、中部圏（970 戸、同 2.4%増、2ヶ月連続）は増加、近畿圏（5,129 戸、同 62.3%増、先月の減少から再び増加）は増加、その他の地域（4,919 戸、同 43.5%増、3ヶ月連続）は増加し、全体では同 19.7%増加（7ヶ月連続）した。一戸建住宅は 11,596 戸で、同 1.7%増加（7ヶ月ぶり）した。

持家・貸家着工の推移



分譲住宅着工戸数に占めるマンション、一戸建寄与度の推移



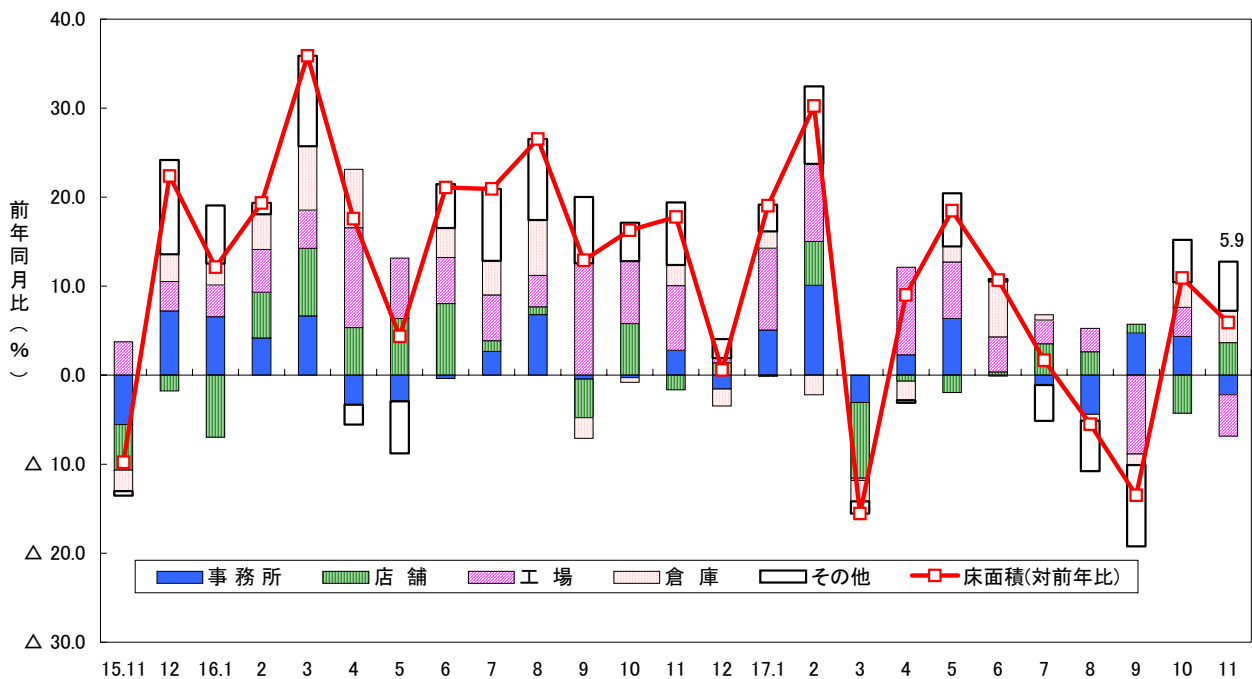
(4) 民間非居住建築

11月の着工床面積は532万㎡で前年同月比5.9%増加(2ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は42万㎡で前年同月比20.6%減少(3ヶ月ぶり)、店舗は87万㎡で同26.5%増加(先月の減少から再び増加)、工場は91万㎡で同20.4%減少(先月の増加から再び減少)、倉庫は80万㎡で同29.3%増加(2ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成17年12月実施)で平成17年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比17.3%増加(平成16年度同18.1%増加)となり、非製造業(大企業)は同7.0%増加(平成16年度同1.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は0、「先行き」は1となり、先行きの設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸びと用途別寄与度



(対前年比、%)

区分	年度年月	床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	14年度	△ 2.9	△ 16.6	23.9	△ 16.4	△ 7.0	△ 9.2	△ 25.2	11.1	△ 20.2	△ 12.8
	15	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
月	16年11月	17.8	28.8	△ 9.2	36.9	19.1	4.9	37.0	△ 6.2	15.9	16.2
	12	0.6	△ 12.7	8.4	2.8	△ 15.0	△ 6.3	△ 40.4	3.8	10.5	△ 22.3
	17年1月	19.0	34.6	△ 0.8	48.4	15.9	13.8	0.9	9.8	43.8	21.4
	2	30.2	83.3	22.7	44.9	△ 17.4	40.2	137.6	24.0	41.3	△ 29.8
	3	△ 15.6	△ 24.6	△ 38.9	△ 1.5	△ 16.7	△ 22.8	△ 44.9	△ 25.8	2.7	△ 22.4
	4	9.0	29.4	△ 3.6	41.1	△ 13.6	11.8	27.8	3.5	26.7	△ 8.7
	5	18.5	61.6	△ 9.0	29.4	13.0	46.5	176.7	22.9	28.4	29.9
	6	10.7	△ 1.0	1.6	19.3	47.2	16.6	14.8	33.9	19.4	43.5
	7	1.7	△ 9.9	20.3	14.3	4.6	6.2	△ 10.1	20.8	35.1	△ 8.3
	8	△ 5.5	△ 30.1	15.5	16.6	△ 5.0	△ 11.4	△ 58.3	8.7	23.7	5.5
	9	△ 13.5	66.5	6.3	△ 37.0	△ 10.7	△ 12.0	89.0	△ 10.0	△ 36.7	△ 4.4
10	10.9	45.9	△ 19.9	16.9	26.3	17.7	47.5	4.6	18.5	23.6	
11	5.9	△ 20.6	26.5	△ 20.4	29.3	8.3	△ 28.1	21.2	△ 10.3	25.2	
累計	4月~11月	4.2	11.2	3.1	8.4	10.4	8.7	11.5	13.4	10.6	12.0

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

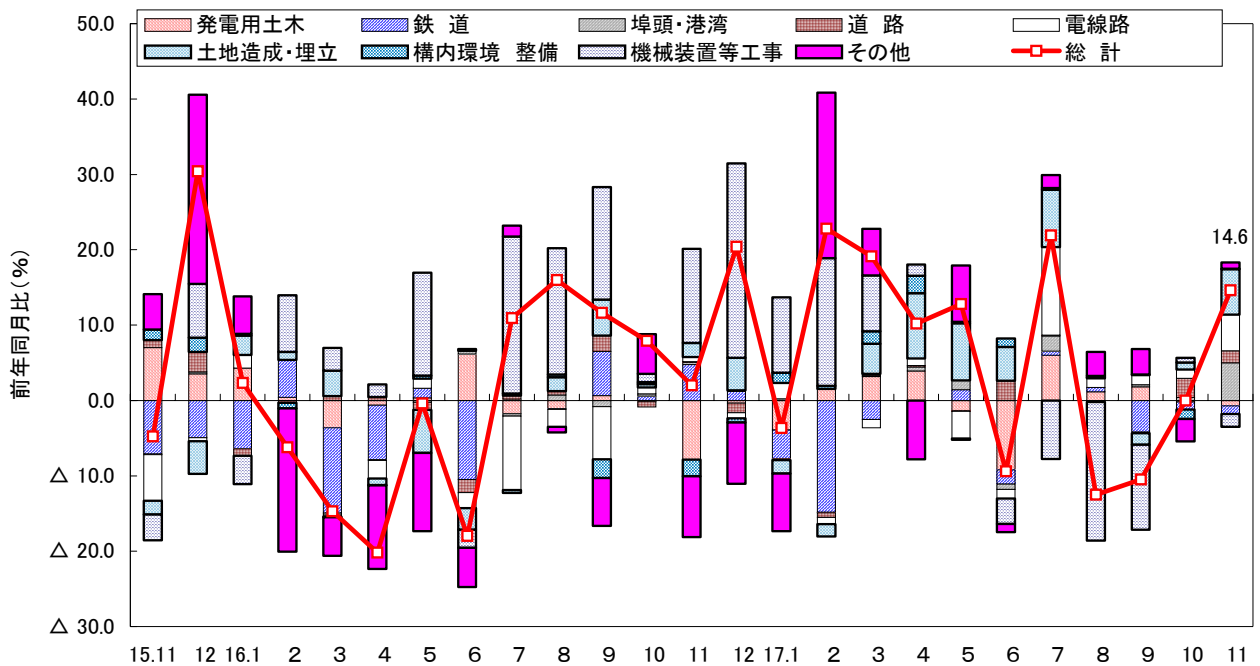
(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

11月の土木工事及び機械装置等の受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,082億円で、前年同月比14.6%増加（4ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、製造業（前年同月比32.3%増、寄与度+8.3）、情報通信業（同45.1%増、寄与度+5.3）等が増加し、電気・ガス・熱供給・水道業（同23.2%減、寄与度-5.8）が減少した。

工事種類別でみると、土地造成・埋立工事（寄与度+6.0）、埠頭・港湾工事（寄与度+5.0）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-1.7）、鉄道工事（寄与度-1.1）等が減少した。

民間等からの受注工事額の伸びと使途別寄与度

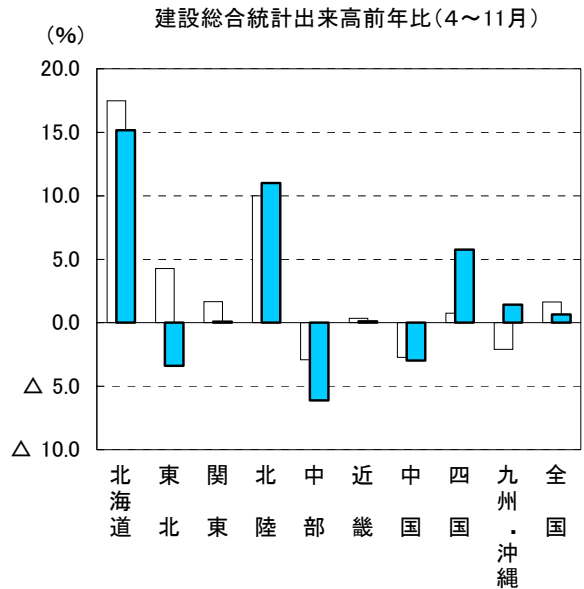
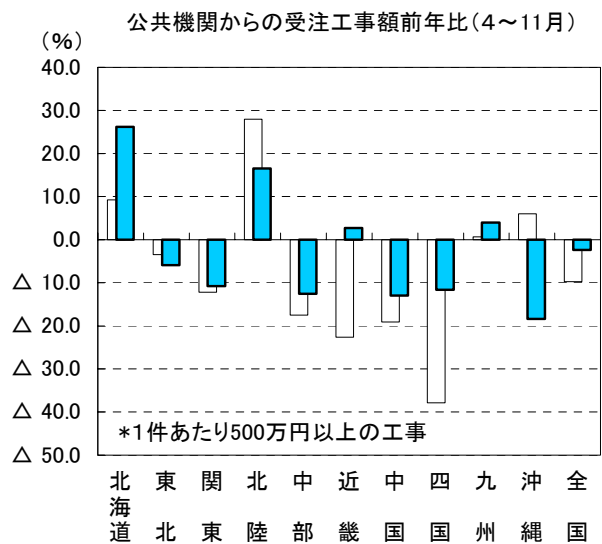
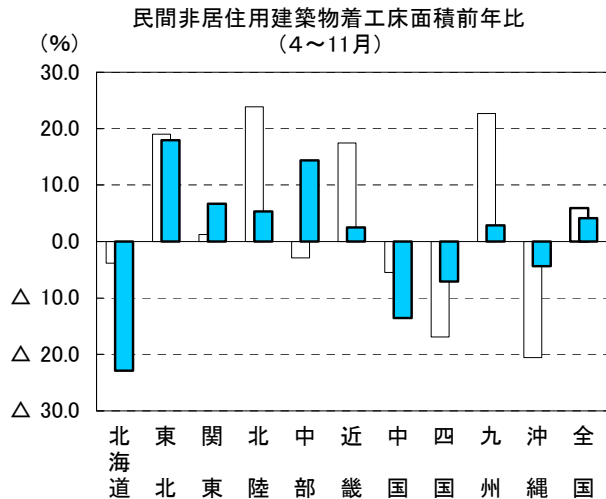
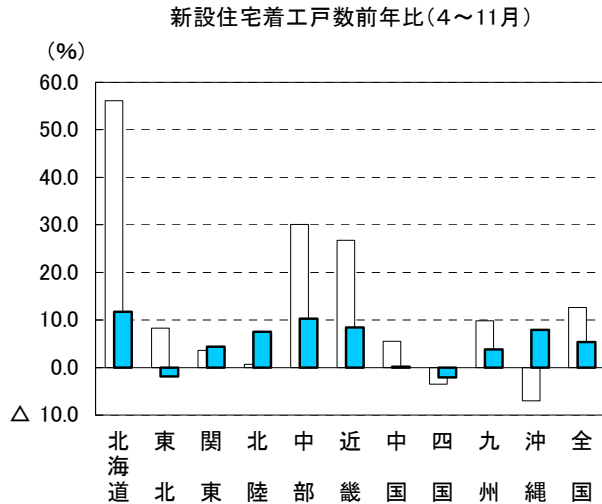


(対前年比、%)

		総計	発電用土木	鉄 道	埠頭・港湾	道 路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等工事
年 度	14年度	△ 10.6	△ 21.1	10.8	83.0	△ 25.4	△ 22.9	△ 38.4	△ 26.7	△ 8.9
	15	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
月 次	16年11月	2.0	△ 70.9	34.5	78.5	6.2	5.3	39.2	△ 43.7	39.7
	12	20.4	△ 8.5	8.6	22.3	△ 43.5	△ 6.4	65.9	△ 16.0	78.5
	17年1月	△ 3.6	△ 65.3	△ 23.8	35.7	△ 15.3	13.2	△ 22.6	59.5	31.5
	2	22.8	84.3	△ 55.1	△ 9.7	△ 40.1	△ 7.6	△ 20.4	16.5	34.2
	3	19.1	72.5	△ 8.6	19.1	17.3	△ 13.3	61.6	124.3	20.0
	4	10.2	580.5	0.2	76.5	13.8	5.9	118.9	58.8	4.1
	5	12.8	△ 51.5	13.7	186.4	△ 3.9	△ 31.7	113.7	△ 2.6	0.4
	6	△ 9.4	△ 86.9	△ 12.2	△ 50.0	488.0	△ 9.3	79.8	41.6	△ 9.1
	7	21.9	370.6	4.2	271.8	7.3	91.6	103.9	6.5	△ 16.8
	8	△ 12.5	92.1	3.9	△ 0.8	△ 12.3	13.0	1.1	6.9	△ 36.3
	9	△ 10.5	95.8	△ 23.0	91.2	△ 6.0	15.3	△ 16.1	4.1	△ 25.7
10	△ 0.0	△ 13.1	△ 7.5	36.1	399.9	8.4	13.9	△ 30.2	1.3	
11	14.6	△ 22.7	△ 5.8	705.2	116.1	42.0	92.6	3.0	△ 4.0	
累計	4月～11月	2.3	7.8	△ 6.2	123.3	57.5	18.1	50.9	8.6	△ 13.0

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



注) □ は直近月の前年同月比伸び率

区分 地域	投資 建設 総合 統計 4月~11月	受注・着工				企業 倒産 件数 4月~12月	労働			
		公共機関 受注 4月~11月	民間非 居住用 建築物 4月~11月	新設 住宅 4月~11月	民間等 受注 (土木・機械) 4月~11月		建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値) 11月		有効求人 倍率 (季調済) 11月	
		前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)		%	対前年増減	倍	対前月増減
北海道	15.2	26.2	△ 22.9	11.7	14.1	44.4	2.7	1.2	0.59	0.02
東北	△ 3.4	△ 5.9	18.0	△ 1.9	9.0	207.7	2.1	1.2	0.75	0.03
関東	0.1	△ 10.8	6.7	4.4	△ 6.3	66.3	3.2	2.0	1.16	0.02
北陸	11.0	16.5	5.3	7.5	△ 23.8	69.7	0.6	0.0	1.16	0.02
中部	△ 6.1	△ 12.6	14.4	10.3	26.9	84.2	2.8	3.7	1.43	0.02
近畿	0.1	2.7	2.5	8.4	13.9	57.3	0.9	0.2	0.98	0.04
中国	△ 3.0	△ 13.0	△ 13.6	0.2	14.5	87.2	△ 0.2	0.0	1.16	0.03
四国	5.8	△ 11.6	△ 7.1	△ 2.1	29.4	94.7	1.2	0.6	0.83	0.00
九州	1.4	4.0	2.9	3.8	△ 18.5	88.4	2.7	2.5	0.72	0.01
沖縄	—	△ 18.4	△ 4.4	7.9	△ 10.4	66.7	0.0	△ 0.2	0.41	△ 0.02
全国	0.7	△ 2.4	4.2	5.3	2.3	74.9	2.1	1.5	0.99	0.01

注) 労働に関する指標の対前年比、対前月比の単位はポイント。

建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。

建設総合統計の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。

建設業倒産件数は平成17年4月より集計対象変更のため単純比較はできない。参考値として掲載。